

No.	月日	曜日	啓発内容	団体名	参加人数
1	10月1日	火	施設見学	千鳥小学校4年生	27名
2	10月8日	火	施設見学	千鳥小学校4年生	29名
3	10月9日	水	職員研修	福津市	36名
4	10月10日	木	職員研修（午前・午後）	福津市	68名
5	10月17日	木	施設見学	青柳小学校4年生	52名
6	10月22日	火	職員研修	福津市	41名
7	10月22日	火	施設研修	福岡県人権・同和教育 研究協議会	20名
8	11月5日	火	施設研修	古賀市 学校人権教育研究協議会	72名
9	11月6日	水	施設研修	福岡県隣保館連絡協議会	11名
10	11月8日	金	施設研修	区長会	43名
11	11月13日	水	職員研修	福津市	36名
12	11月27日	水	施設研修	古賀市企業内人権・同和問題研修 建設業者等人権・同和問題研修	37名

1. 施設見学（千鳥小学校4年生） 10月1日（火） 27名

写真省略

2. 施設見学（千鳥小学校4年生） 10月8日（火） 28名（保護者1名）

写真省略

千鳥小学校保護者の感想

○説明が分かりやすかったです。バクテリアの紹介があった後、実際に顕微鏡で観察できたので子どもたちも興味を持ってスクリーンを見ていたので良かったと思います。（座学だけでなく自身も参加できる構成）が良くできていました。

○映像や実物（バクテリア）が見れて、とてもわかりやすかったです。子どもたちは具体物があることで、より理解が深まっていたように思います。

千鳥小学校 【先生の感想】

子どもたちが見学に行く前と行った後のし尿処理に対するイメージが大きく変わった点がとても良かったです。また、においを出さない工夫や処理の仕方が見て学べ子どもたちにとっても大変分かりやすかったと思います。

千鳥小学校 【児童にどのような変化が見られたか】

「トイレに行くこと」に積極的になったと思います。し尿ってくさいだけじゃない、そこで働いてくれている人がいることを知り、感謝する気持ちが芽生えたと思います。

千鳥小学校 【授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか】

授業で学んだことを学習発表会で伝えようという話になりました。トイレをキレイに使うことやトイレに行く人をからかわない子を育てていきたいです。自分の目で見えて判断する力を養いたいです。

3. 職員研修（福津市） 10月9日（水） 36名

写真省略

◇《とても理解できた30名》 ◇《理解できた6名》

4. 職員研修（福津市） 10月10日（水）午前 34名

写真省略

◇《とても理解できた21名》 ◇《理解できた13名》

4. 職員研修（福津市） 10月10日（水）午後 34名

写真省略

◇《とても理解できた16名》 ◇《理解できた16名》 ◇《半分理解できた2名》

6. 職員研修（福津市） 10月22日（火） 41名

写真省略

◇《とても理解できた23名》 ◇《理解できた18名》

11. 職員研修（福津市） 11月13日（水） 36名

写真省略

◇《とても理解できた24名》 ◇《理解できた12名》

○今までの人権研修の中で、最も充実した研修だったように思います。他自治体との関連や、し尿処理施設建設の経緯とその背景など、自治体職員として知っておくべきことを紹介いただき、大変勉強になりました。海津木苑では「排育」もされているとのことで頭が下がる思いでした。また、特に啓発においては、小学生頃の教育の重要性を改めて感じました。今後もぜひこのような研修をしていただければと思います。

○し尿処理施設と人権研修の関連性に疑問をもって研修に参加しましたが、施設建設の経緯を伺い腑に落ちました。人権教育・人権啓発の大切さを改めて感じました。

○今回の研修で、し尿処理に対するイメージがかわりました。実際に施設内を見学させていただき本当ににおいがないことに驚きました。大人になってからの社会科見学、とても新鮮でよい体験となりました。

○受講前はし尿処理施設が人権研修と何の関係があるのか不思議に思っていたのですが、過去の出来事を踏まえて説明がありとてもわかりやすかった。施設についても周囲への配慮が最大限されており、処理施設と人権研修を学ぶことのできる良い施設だと思いました。

○実際に施設を見ることで、最先端の技術や周囲の環境にいかに関心されているか、肌で感じることができました。生活に欠かせない大切な施設ではありますが、地域住民が抱く葛藤、根底にある差別問題を改めて学ぶことができました。誰もが無意識に持っている差別意識を改めていけるように、また自分自身が無意識に抱かないようにと考えさせられる研修でした。

○「し尿」という言葉を聞くと、汚い等の負のイメージを正直持っていました。しかし、今回受講して生命の存続には必ず不可欠なもので、その処理施設の問題を年月を経て公害や部落差別と向き合ってきた結果、今の海津木苑があることがわかり、汚い等のイメージを持っていた自分が恥ずかしくなりました。また、し尿処理されたものはただ処理されて終了ではなく、再利用までされていることの驚きでした。様々な機械も見学させてもらいましたが、目で見て見学するともっと施設のことについて知りたいと感じたので、時間があればまた見学させていただきたい。

5. 施設見学（青柳小学校4年生） 10月17日（木） 43名（保護者9名）

写真省略

青柳小学校 【先生の感想】

これまでも何回かし尿処理学習を行ってきたが、ここまでし尿に関する考えが変化した子どもたちは初めてです。子どもたちが真剣に学び・考え、これからどうしていくかを話し合っている姿を見ることができとても良かったです。

青柳小学校 【児童にどのような変化が見られたか】

し尿について、またし尿処理場（海津木苑）へのイメージがガラッと変わりトイレに行くこと（大便）を恥ずかしがらずにいけるようになったり、海津木苑の良さ・大切さを家庭の方へ伝えたりしています。

青柳小学校 【授業や児童の学校生活にどのように活かしていこうと考えているか】

見た目だけで判断する児童が多い。今回の学習を通して思い込みで決めつけることはよくないことを学んだことで、人や物、場所など全てに対して決めつけずよく見て、よく考えた言動ができる子どもたちになるよう指導していきたいです。

青柳小学校 【保護者の感想】

○この施設のおかげで私たちは不自由なく生活が出来ているのだと、改めて感じる事ができました。しっかり伝えていきたいです。楽しく見学させていただき、ありがとうございました。においも気にならず素晴らしい施設でした。

○何気なく毎日当たり前に行っているし尿がどのように処理されているのか深く考えたことが今までありませんでした。古賀で生まれ育ったので、子どもの頃学校で習ったのでしょうか、正直その記憶がありません。今、我が子たちが学んでいることがしっかり身につくためには、いかに親、周り大人が関わっていくかが重要だと思います。今日、帰宅して息子と色々話そうと思います。

7. 施設研修（福岡県人権・同和教育研究協議会） 10月22日（火） 20名

写真省略

○施設そのものに科学技術が注入されている様子がよくわかりました。”めいわく”とされるものが当たり前のものになるように工夫が凝らされていると思いました。差別を容認しないという被差別の立場の人々の気概を感じることでできる諸々の決断とそれが積み重なって歴史に触れることができたことに感動しています。

○施設建設の経緯、歴史などを学ぶことができたが、部落があるがゆえの人権啓発の拠点となるべく撤去・受入、そして学校の子どもたちや地域の方々への啓発学習に力を注いでいることがよく理解できた。地域差別と職業差別、今もなお残る人権課題について学ぶことができました。

○海津木苑の背景に部落差別の問題があったことはかねてから知っていましたが、今日現地で学ぶことで改めて経緯や地域の方の思いや願いを様々な形で感じ取ることができた有意義な時間でした。また、地元の人間を連れて学習に来させていただくことができれば嬉しく思います。

◇《とても理解できた16名》 ◇《理解できた4名》

8. 施設研修（古賀市学校人権教育研究協議会） 11月5日（火） 72名

写真省略

○今回の研修で印象に残っているのは、トイレの壁紙の工夫についてです。子どもたちがトイレをすることに対して悪いイメージを持つことがないように工夫がすごく良いと感じました。また、海津木苑が建てられた経緯も知ることができたので、子どもたちに同和問題と合わせて教えたい。

○私が住んでいる市には、し尿処理施設がなく古賀市の学校に赴任して初めてし尿処理施設に行きました。そのためし尿とは何かもわからないままでしたが、前回と今回の研修にて、し尿処理施設が私たちの生活においてどれほど重要か、そして海津木苑がどれほど周りに配慮をして処理を行っているのか理解することができました。

○実際に海津木苑を見学してみて、自分の目で見ることの大切さが分かった。何事も決めつけず、確かめることの大切さを伝えていきたい。

○実際に見学をすることで分かることが様々ありました。海津木苑の方々がどのような思いで仕事をされているのかがとても伝わった時間でした。今回のお話を聞いて差別、思い込みで決めつけないことを普段から子どもたちには伝えていかないといけないと思いました。

○海津木苑ができるまでの過程や偏見と闘ってきた歴史に関してはよく理解することができた。ただ、反対するだけではなく受け入れることで闘うというところに教育って大切で集団を動かそうとするのは非常に困難なことだろうと思う。建物が変わっても海津木苑という名前は変わらないため、「海津木苑」という名前はどのようにしてできたのか気になった。

○施設ができた経緯や思いについて知ることができました。また見学して初めて分かることがたくさんありました。特にし尿に対する子どもの意識を正しい認識にしなければならないと感じました。今回の学びをこれからの教育活動に活かしていきたいと思いました。

◇《とても理解できた47名》 ◇《理解できた22名》 ◇《半分くらい理解できた3名》

9. 施設研修（福岡県隣保館連絡協議会協議会） 11月6日（水） 9名（隣保館職員2名）

写真省略

○実家近くにはし尿処理施設があったが、臭いというイメージがあり、親なども近づくなと言われていたが、「排育」という言葉は非常に印象に残り、人として生きていく上で大切な処理施設であると改めて思った。

○今回の研修で、自分自身もし尿処理のトラックが来た時ににおいがきついイメージを小学校の時の事を思い出しました。研修で話を聞きながらし尿トラック最近見ないなと思ってたら、トラックの見た目も考えられていたとびっくりしました。今日のこと自分の子どもにも話してみます。

○初めて訪問しましたが、し尿処理施設と部落との関係性がわかり、とてもよい研修になりました。もっと多くの方にもぜひ見て頂きたい内容だと思います。「排育」⇒これ大切ですね

◇《とても理解できた9名》 ◇《理解できた2名》

10. 施設研修（区長会） 11月8日（金） 43名

写真省略

○最初、し尿処理場が食品団地敷地内にあると聞いたときは驚きましたが、昨年見学してからは納得しました。

○コンパクトな最新設備で素晴らしいです。以前の棟より更にコンパクトでした。苑内の臭気も全くOKで差別に繋がる施設では全然ないと思いました。

○子どもが3人いますが、親の私が海津木苑がどんな施設なのか全く知りませんでした。子ども達が学校でトイレに行くことを全く恥ずかしくならなかったのは海津木苑への見学があったからなんだと感動しました。古賀市にこんな素晴らしい施設があることは誇りであると思います。

○大変勉強になりました。近年は、古賀市に転入される方も多いと思うので幅広い層の方に見学いただけるといいのではないかと思います。

◇《とても理解できた20名》 ◇《理解できた13名》 ◇《半分くらい理解できた3名》 ◇《ほとんど理解できなかった1名》
◇《無回答6名》

12. 施設研修（古賀市企業内人権・同和問題研修推進員、建設業者等）11月27日（水）37名

写真省略

研修の分かりやすさ

- ◇ 《分かりやすかった18名》 ◇ 《おおむねわかりやすかった。13名》 ◇ 《分かりやすくなかった1名》
- ◇ 《無回答5名》

理解度

- ◇ 《理解できた19名》 ◇ 《おおむね理解できた14名》 ◇ 《無回答4名》

- 差別は許せないという思いを改めて強くした。
- 海津木苑の建設経緯を初めて知りました。実際に施設内を見学することができとても勉強になりました。
- スライドが立派に作成されて、分かりやすかった。大変貴重な研修となりました。
- 歴史から見て食品工場が隣接していることは古賀市の誇りと思います。
- 施設を直接見ることができたので、よく理解できた。
- 映像をみて理解できた。